

【草花の部屋】

キンセンカ（キク科キンセンカ属 *Calendula officinalis*）

和名：キンセンカ **別名**：カレンデュラ **英名**：Pot Marigold

キク目 一年草 **原産地**：地中海沿岸

花言葉：別れの悲しみ、悲嘆、寂しさ、失望 **花の色**：黄、橙



← 写真-1 キンセンカ

撮影日：2016年04月21日

撮影場所：大和郡山市郊外にて

撮影者：M さん

↓ 写真-2 キンセンカ

撮影日：2016年04月21日

撮影場所：大和郡山市郊外にて

撮影者：M さん



郊外の家庭菜園の一角で咲いていました。特に、珍しい植物ではありませんが、鮮やかなオレンジ色が目に映り・・・。花径10cmほどでオレンジ色や黄色の花を咲かせ、花容は一重、八重、また中心に黒のスポットのあるものと多彩のようです。

花色と盃状に咲く花の形から「金盞花」と名づけられ、丈夫で作りやすい草花として親しまれています。

日本では観賞用として花壇などに植えられますが、ヨーロッパでは、原種はハーブの1つに数えられ、エディブル・フラワー(食用花)とされています。古くから食用ハーブとして利用され、中世ヨーロッパではペストの予防薬や強心剤として使われていたという記録が残っているそうです。乾燥させた花びらは樽に詰められて売られ、胃病などの民間薬として利用されたほか、バターやチーズの色づけ、調味料としても重宝されていたそうです。また、ビタミンAやフラボノイドを含んでおり、傷ついた皮膚や粘膜、血管を修復・保護する働きがあること

から、皮膚薬としても・・・。現代では乾燥させた花びらを油に浸して抽出したオイルが配合されたスキンケア用品が数多く出回っているそうです。

< ちょっと一言 >

マリーゴールドには、コンパニオンプランツとして虫除け効果のあるフレンチ・マリーゴールドやアフリカン・マリーゴールドがありますが、ポット・マリーゴールド(キンセンカ)とは、同じキク科ですが属が異なります。

マリーゴールド (英語: marigold、学名: *Tagetes*) は、キク科コウオウソウ属 (マンジュギク属) のうち、草花として栽培される植物の総称。

主な種として

アフリカン・マリーゴールド (学名: *Tagetes erecta*、メキシコ原産)

和名: センジュギク (千寿菊)、サンショウギク (山椒菊)、

フレンチ・マリーゴールド (学名: *Tagetes patula*、メキシコ原産)

和名: コウオウソウ (紅黄草)、クジャクソウ (孔雀草)

マンジュギク (万寿菊)

メキシカン・マリーゴールド (学名: *Tagetes tenuifolia*)

和名: ホソバコウオウソウ、ヒメコウオウソウ

レモン・マリーゴールド (学名: *Tagetes lemonii*)

などがあります。